

ANA インターコンチネンタルホテル東京 新総支配人就任とともに、さらにグローバルなサービスを強化

2007年4月に旧東京全日空ホテルから名称を変更し、世界最大規模のホテルチェーンである英IHGのインターコンチネンタル ホテル&リゾートの仲間入りをした「ANA インターコンチネンタル ホテル東京」(東京都港区赤坂)は、2008年4月1日付で、総支配人にファーガス・スチュワート (Fergus Stewart)を迎え、より一層グローバルな視点をもったホテルを目指します。

この度、当ホテル総支配人に就任したスチュワートは、スコットランド出身で、ロンドン、台湾、シンガポール、北京、エジプト、スペイン、タイをはじめとした世界10カ国のホテルにおいて、主に料飲部門を中心に数多くの重要な役割を担い、近年では各国のハイアットリージェンシーにて総支配人職を歴任しています。このたび、当ホテルの運営会社であるIHG・ANA・ホテルズグループ ジャパン に入社し、当ホテル総支配人の任命を受けました。(次頁のプロフィール参照)

日本での職務経験は今回が初めてとなりますが、国際感覚豊かな視点を活かし、インターナショナルホテルとしての運営手腕を発揮することを期待されており、既にANA インターコンチネンタルホテル東京に新鮮な息吹をもたらしています。

より国際化をめざす当ホテルでは、さらに、当月より来日外国人向けのフルパッケージの宿泊プラン「インサイダー・エクスペリエンス」という、空港とホテルのリムジン送迎をはじめ、優雅なホテルステイに加え、初めての来日でも東京での滞在を満喫いただけるようなプライベートツアーやお好きなスタイルでショッピングを楽しめる新しい形態の宿泊プランを開始しました。

(同封のニュースリリース参照)

ANA インターコンチネンタルホテル東京では、昨年4月の共同ブランド化以来、客室内を中心とする装備品のリニューアルにより品質の向上を図るとともに、ルームサービス、フィットネスセンター、ビジネスセンターの24時間営業を導入するなどのサービス強化を図ってまいりました。世界的に認知されたインターコンチネンタルホテルズグループのブランド力、グローバルな予約および送客システム、そして3,700万人超のホテルロイヤリティ・プログラム(プライオリティ・クラブリワーズ)等の要素により、外国人宿泊客が5割を上回るほど増加しています。

2年目を迎えたこの春からは、新総支配人のもと、主にレストラン&バーの装備品やサービスについて充実を図ってまいりますので、今後もぜひご期待ください。

IHG・ANA・ホテルズグループジャパン

2006年12月1日に、客室数で世界有数のホテルグループであるインターコンチネンタルホテルズグループと、日本を代表する航空会社ANAの業務提携により設立されたジョイントベンチャー会社で、国内で合計41軒、客室数約12,000室を運営する日本最大のインターナショナルなホテル運営会社。

<プロフィール>

ファーガス スチュワート (Fergus Stewart)

ANA インターコンチネンタルホテル東京 総支配人



ロンドンにあるランドマークホテルのホテルマネージャー、台湾とシンガポールにあるシャングリラホテルの副総支配人料飲担当、北京のシャングリラホテルやロンドンにあるグロブナーハウスホテルにおいても料飲部門の重要な役割を経た後、エジプトのハイアットリージェンシー シャルムエルシェイク、スペインのハイアットリージェンシー ラマンガの総支配人、開業前のハイアットリージェンシー プーケットの総支配人を歴任。

2008年4月1日付で、IHG・ANA・ホテルズグループジャパン に入社し、ANA インターコンチネンタルホテル東京の総支配人として、国際的なホテルの運営手腕と豊富な経験を活かしたリーダーシップを発揮していくことを期待されている。

英国の大学でホテルケータリング・経営学位を取得。

シンガポール国立大学のホスピタリティー・マネジメントにてコーネル大学のエグゼクティブプログラムを修了。

スコットランド出身。

上記写真は、背景が白無地の写真もご用意しております。ご入用の際は、下記までお問い合わせください。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

ANA インターコンチネンタルホテル東京 広報担当：森・大澤

TEL：03-3505-1698/FAX：03-3505-3110

E-mail：naomi.mori@anaintercontinental-tokyo.jp